



【朝日岳をのぞむ(桜並木と北陸新幹線)】

朝日町は富山県の東端に位置し、東は新潟県、長野県と接しています。東南には町名の由来ともなった、朝日岳(二、四一八メートル)に始まり、白馬岳(二、九三二メートル)を主峰とする北アルプス連峰がそびえ、これらの山々に源を発する河川(小川、笹川、境川)が日本海に注いでいます。

森林面積は一九、九一六ヘクタール(平成二十五年年度)で町の総面積の八七・五%を占め、このうち一二、五五九ヘクタールは、中部山岳地帯の国有林となっています。

海岸線は九・四五キロメートルで、そのうち宮崎・境海岸の砂利浜は、ヒスイの原石が打ち上げられる「ヒスイ海岸」として全国にその名を知られています。

このように、朝日町は海拔〇メートルから三、〇〇〇メートル級の山々に至るダイナミックなパノラマが広がる自然に恵まれた町です。

### ○ヒスイ海岸

朝日町の最東に位置する、幅一〇〇メートル、東西約四キロメートルにわたって広がる砂利浜の海岸です。美しいエメラルドグリーン



【ヒスイ海岸】

の自然海岸で、「日本の渚百選」、「快水浴場百選」に選定されています。

この海岸では、海からヒスイが打ち上げられます。日本のヒスイ産地は険しい山の中が殆どですが、楽しく安全にヒスイを拾うことができ、世界的にも珍しい環境です。

冬の荒れた波に乗って、ヒスイが海岸に打ち上がり、荒れた日の三日後くらいが狙い目です。

### ○白馬連山高山植物帯

三、〇〇〇

メートル級の高山が連なる地域は、地形の変化に富み、高山植物の豊富など、特別天然記念物に指定されています。



【朝日岳から富山平野の眺め】

白馬岳を頂点として、北にはちがだけ、ゆきくらだけ、あさひだけ、鉢ヶ岳、雪倉岳、朝日岳、長梅山、そして犬ヶ岳へと連なる稜線は富山・長野・新潟の県境となっています。

これらの山々は白馬岳以南とや山体を異にしている、冬季の衝撃的な季節風の影響もあり、特別な気象条件となっています。このため、山頂・山稜では、高山風衝性低木群落、高山風衝草原、高山・高原・草原などが自然の美観を見せています。

また飛騨山脈が南北に位置しており、山稜



【高山植物(チングルマ)】

の西斜面は冬季季節風の風衝地で積雪地となり、東斜面は吹き溜まりや雪庇等の多雪地となり、そこにできる雪田植物群落は、長野・新潟の両側に多いものの、氷河時代にできた二重山稜は朝日町側に多く、特に朝日岳に多く見られます。

朝日岳を中心として、雪田植物群落亜高山性湿性植物群落、好湿性の口茎広葉草原がよく発達し、登山者を喜ばせています。

◆お問い合わせは、朝日町役場まで  
☎〇七六五―八三―一一〇〇

